

平成27年度 学校評価 (職員)

評価基準 A (よくできた) 5 / B (できた) 4 / C (あまりできなかった) 2 / D (できなかった) 1

《 ランクマーク ▲ 1.00 ~ 1.99 / △ 2.00 ~ 2.49 / 無印 2.50 ~ 2.99 / ○ 3.00 ~ 3.99 / ◎ 4.00 ~ 5.00 》

※ アンケート集計実施日 平成28年2月1日

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査					評点	ランク	試問年	評点年度毎推移グラフ		
				A	B	C	D	無回答						
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	「学級通信」・「学校だより」を月1回発行するとともに「ホームページ」を通じて、保護者に可能な限り情報を公開する。	23	3	17	13	1	0	3.2	○	1		
		24	10	17	7	1	0	3.8	○					
		25	14	17	2	0	0	4.3	◎					
	開かれた学校づくり	学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	学校評議員の意見を聴取し、授業や行事等の改善に役立てる。	23	1	14	12	4	0	2.9	○	2		
		24	6	14	14	1	0	3.3	○					
		25	4	16	10	2	1	3.3	○					
	開かれた学校づくり	学校施設や教育資源の地域への開放	社会人教育として「特別専修コース」を開設し、地域住民が学ぶ環境をつくる。	23	12	12	7	3	0	3.7	○	3		
		24	12	11	10	2	0	3.6	○					
		25	16	11	3	1	2	4.2	◎					
	学 校 運 営	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	年度当初に生徒指導方針を生徒・職員に明確に説明し、定期的にその方針の達成状況を確認する。	23	11	14	9	0	1	3.8	○	4	
			24	3	20	9	1	0	3.5	○				
			25	3	20	9	1	0	3.5	○				
生徒指導		生徒の内面理解を図る指導の工夫	年間4回、個人面談を実施すると共に、家庭とも密接な連絡をとる。	23	15	18	2	0	0	4.3	◎	5		
		24	20	12	3	0	0	4.4	◎					
		25	13	16	4	0	0	4.2	◎					
生徒指導		生徒の自主自律の精神を育む指導の工夫	生徒会行事の活性を図り、生徒の自律意識を高める。	23	0	14	19	1	0	2.8	○	6		
		24	2	17	13	2	1	3.1	○					
		25	6	19	7	1	0	3.7	○					
進路指導		進路指導体制の充実	進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導する。	23	5	19	8	0	0	3.7	○	7		
		24	9	14	10	1	1	3.6	○					
		25	6	18	8	1	0	3.6	○					
進路指導	職業観・勤労観の育成と進路意識の育成	外部講師による進路講演会を開催し、生徒の職業観を高める。	23	7	18	9	0	0	3.7	○	8			
	24	8	15	10	1	1	3.6	○						
	25	7	21	5	0	0	3.9	○						
学 校 運 営	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	いつでも公開授業ができる体制を整える。各学期に1回以上研究授業を行う。	23	0	19	14	1	0	3.1	○	9		
		24	4	16	13	2	0	3.2	○					
		25	9	20	3	1	0	4.0	◎					
	教職員の資質向上	計画性をもった研修の実施	進路・教務・保健・生徒指導等の諸課題に関する研修を計画的に立案する。	23	1	18	9	2	0	3.2	○	10		
		24	2	16	13	3	0	3.0	○					
		25	8	16	10	0	1	3.6	○					
	危機管理体制の整備	生徒に対する防犯教育の充実	学校マニュアルに基づいて、不審者の侵入などの危機的事態への注意を喚起し、連絡の徹底を図る。	23	3	15	14	2	0	3.1	○	11		
		24	0	15	13	6	1	2.7	○					
		25	3	13	16	1	0	3.0	○					
	危機管理体制の整備	教員の実践的な研修・訓練	緊急事態への対応や、生徒の心のケアについての研修を定期的に行う。	23	2	16	14	2	0	3.1	○	12		
		24	4	17	11	2	1	3.3	○					
		25	2	10	19	2	0	2.7	○					

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年					評点	ランク	BA問答	評点年度毎推移グラフ		
				A	B	C	D	無回						
学校運営	学校運営全般	学年・学級経営	学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的経営方針を立て、その実施に努力する。	22	3	19	10	0		3.5	○	13		
				23	9	16	6	4	0	3.6	○			
	24	2	23	7	1	0	3.5	○						
	26	4	24	6	1	0	3.7	○						
	27	9	19	7	0	0	3.9	○						
	22	2	22	8	1		3.5	○	14					
23	5	19	7	3	1	3.5	○							
24	5	21	6	1	0	3.7	○							
26	8	17	9	1	0	3.6	○							
27	5	22	7	1	0	3.7	○							
PTCA活動	PTCAとの連携	授業参観や、人権教育研修・保健講話などにおける研修会への参加により、学校を開き、生徒理解を深める。	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	23	5	16	11	0			3.5	○	15	
				24	5	19	7	3	1	3.5	○			
				25	6	17	9	0	1	3.6	○			
				26	7	23	5	0	0	3.9	○			
				27	9	20	5	1	0	3.9	○			
教育課程	自らから学び考える力の育成	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	23	1	17	14	0		3.2	○	16		
				24	2	15	16	1	1	3.0	○			
				25	3	11	15	3	1	2.9				
				26	2	20	13	0	0	3.3	○			
				27	5	12	16	2		3.1	○			
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価基準の設定	全校一斉テストを年5回以上実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫する。	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	23	2	11	15	4		2.8		17	
					24	4	9	16	5	1	2.7			
					25	6	20	4	2	1	3.8	○		
		26	13	18	3	1	0	4.1	◎					
		27	18	16	1	0	0	4.5	◎					
		学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	23						#####		
	24					1	10	14	7	3	2.5			
	25					4	17	12	0	0	3.4	○		
	評価方法の創意工夫	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	評価方法について、教科間の意見交換や教科内の研修会を各学期に1回以上実施して、多角的な評価方法を工夫する。	22						#####	#####	19	
					24	2	8	17	6	2	2.5	△		
					25	4	13	13	3	0	3.1	○		
26					1	13	18	3	0	2.7				
27					5	18	12	0	0	3.5	○			
指導形態の工夫	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	23	2	15	14	3		3.0		20		
				24	4	12	12	5	2	2.9				
				25	4	15	11	3	0	3.2	○			
				26	5	19	9	2	0	3.5	○			
				27	10	21	4	0	0	4.1	◎			
自主的・実践的な活動の活性化	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	23	7	18	8	1		3.6	○	21		
				24	6	20	8	0	1	3.7	○			
				25	7	18	7	1	0	3.7	○			
				26	4	23	8	0	0	3.7	○			
				27	9	21	4	1	0	3.9	○			
特別活動(学校行事等)	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	23	5	14	11	3		3.2	○	22		
				24	3	15	14	1	2	3.2	○			
				25	3	13	14	3	0	3.0				
				26	2	15	16	2	0	3.0				
				27	15	15	4	0	0	4.2	◎			
ボランティア活動	各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	各種ボランティア活動への積極的な参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	23	0	12	17	3		2.7		23		
				24	2	10	19	3	1	2.7				
				25	5	10	13	4	1	3.0				
				26	2	13	15	5	0	2.8				
				27	3	12	16	4	0	2.8				
芸術文化活動	文化的行事	文化祭(神工祭)で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	文化祭(神工祭)で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	23	11	17	1	0		4.3	◎	24		
				24	6	15	12	0	2	3.5	○			
				25	4	11	7	4	7	3.2	○			
				26	7	17	9	1	1	3.6	○			
				27	9	19	5	2	0	3.8	○			

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年	A B C D				無回	評点	ランク	BA問答	評点年度毎推移グラフ
					A	B	C	D					
各 科 の 個 性 化	(機械科) 機械技術の基礎基本の定着	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。		23	12	19	0	0		4.4	◎	25	
				24	9	19	3	0	4	4.1	◎		
				25	3	18	9	1	2	3.4	○		
				26	9	18	7	0	0	3.9	○		
				27	5	18	5	0	7	3.8	○		
		物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる。具体的には小学生木工教室などに参加させる。	23	9	16	5	0		4.0	○	26		
			24	8	17	5	0	5	3.9	○			
			25	4	14	11	0	4	3.4	○			
		総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成する。	23	3	13	14	1		3.1	○	27		
	24		4	14	8	0	9	3.5	○				
	25		2	15	9	2	5	3.2	○				
	26		3	21	9	1	1	3.5	○				
27	3	18	6	1	7	3.6	○						
(電気科) 工業の情報化・高度化に対応した情報技術の充実	資格検定試験を受験させ、学習意欲の喚起を図る。		23	11	17	1	0		4.3	◎	28		
			24	11	17	3	0	4	4.2	◎			
			25	6	17	7	0	3	3.7	○			
			26	6	21	6	1	1	3.7	○			
			27	5	14	5	1	10	3.7	○			
	工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。	23	4	22	3	0		3.9	○	29			
		24	6	18	5	0	6	3.9	○				
		25	1	21	6	0	5	3.6	○				
		26	6	24	4	0	0	3.9	○				
	27	5	13	6	1	10	3.6	○					
	意欲的に課題解決を行うように工夫をし、達成後、さらに次のステップへの意欲を持たせる。(第2種電気工事士受験等)	23	6	19	4	0		3.9	○	30			
		24	8	14	7	0	6	3.8	○				
25		4	19	5	1	4	3.7	○					
26		4	24	6	0	0	3.8	○					
27		4	15	5	1	10	3.6	○					
防災・安全教育	教員の防災教育に係わる指導力・実践力の向上	「生徒の命を守る」という教職員の意識と技術を高める。防災訓練を年2回行う。	23	4	18	9	0		3.5	○	31		
			24	2	17	14	0	2	3.2	○			
			25	3	15	12	3	0	3.1	○			
			26	10	16	9	0	0	3.8	○			
			27	13	17	5	0	0	4.1	◎			
課 題 教 育	人権教育	確かな人権意識の育成	人権教育HRや生活体験発表会において、生徒の身近な問題から相互に尊重し合う態度を育てる。	23	4	16	10	0		3.5	○	32	
				24	5	18	10	0	2	3.5	○		
				25	3	22	6	2	0	3.5	○		
				26	4	21	10	0	0	3.5	○		
				27	7	23	4	1	0	3.9	○		
育	情報教育	情報モラルの育成	情報発信に伴う責任など、情報モラルを育成する。また、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせる。	23	3	13	13	2		3.1	○	33	
				24	2	13	17	1	2	2.9			
				25	2	11	11	8	1	2.6			
				26	3	12	19	1	0	2.9			
				27	6	20	8	1	0	3.6	○		
育	環境教育・福祉教育	環境・福祉体験活動等の推進	生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てる。	23	0	9	18	2		2.6		34	
				24	2	10	16	5	2	2.6			
				25	1	13	14	4	1	2.8			
				26	3	11	16	5	0	2.7			
				27	5	14	13	3	0	3.1	○		
育	交通安全教育	実践的な安全教育への取り組み	年2回交通安全指導を実施し、自他の生命を尊重する意識を高める。	23	4	17	9	1		3.5	○	35	
				24	4	20	8	0	3	3.6	○		
				25	4	14	12	2	1	3.2	○		
				26	3	23	9	0	0	3.6	○		
				27	14	20	1	0	0	4.3	◎		